

謹んで新年のお慶びを申し上げます

農家の皆様へ

和光市農業委員会会長 新坂 篤司

和光市産業支援課長 大塚 欣也



新年明けましておめでとうございます。令和 7 年の幕開けを迎え、農業委員会会長として、一言ご挨拶申し上げます。昨年は多くの困難がありましたが、皆様のご協力とご支援をいただき、お陰を持ちまして、様々な成果を収めることができました。

また、11 月 17 日に開催された農産物共進会は農産物の出品数は昨年の 194 点から 140 点と減少し、開催時期や気候変動の影響があったことを踏まえても、年々規模が縮小していることは否めない結果となりましたが、和光市産の農産物を展示、販売し、農家と市民の交流を深める貴重な機会となりました。この交流が更なる発展の礎となることを期待しております。

開発や区画整理による農地転用が進み、営農環境の更なる悪化が懸念されています。

今後も都市化が進む和光市の中で、現存している農地・農業の価値を示し、後世に残していけるかが、農業委員会の使命であると考えております。この使命を農業委員一同、農業に携わる皆様と一緒に取り組んでいきたいと考える所存です。また、市街化区域の農地でも生産緑地に指定されている農地は、生産緑地のまま耕作意欲のある農家さんに貸すこともできますので、農地の維持管理や活用について、お困りごとがございましたら、身近な農業委員や農業委員会事務局にご相談ください。最後になりますが、今年一年の皆様の健康とご多幸を切に願い、新年の挨拶とさせていただきます。

◎【 第二回農産物共進会実行委員会を開催しました 】

令和6年12月16日（月）第二回農産物共進会実行委員会を開催し、事業報告と会計報告を行いました。実行委員会の中では以下のような意見が出されました。

- 出品規格の見直しが必要。
- 同じ人が同じ野菜で多数出品できるようにした方が良いのではないか。
- 搬入時間の割り振りは30分ではなく、15分間隔くらいが丁度良いと思う。
- 特別賞以外は品評会の受賞者の重複を認めても良いのではないか。
- 時間まで会場が開かないため、会場設営の集合時間は少し遅くしても良かった。
- 来年度の市民まつりは11月9日と日程が早まるため、さらなる出品数の減少が見込まれる。別のイベントと合せたり、共進会を単独で実施する可能性についても議論されました。
- 学校農園で採れた野菜の展示・販売については良い試みだったので、来年は他の学校にも参加を促していきたい。参加校が増えたら表彰の枠を作っても良いと思う。



頂いたご意見を踏まえ事務局では、来年度の共進会の更なる改善に向け、準備を進めてまいります。また、支部長や農業団体の方々にお集まりいただいた機会を活かして、農業全般に関する意見交換会も実施し、以下のようなテーマについて意見が交わされました。

• 収穫体験の充実について

例えば、収穫に手が回らない畑などがありましたら、市民を対象に収穫体験として実施することで、広報やSNSを利用して集客することもできます。農家さんが主催する収穫体験事業の周知・PRについてもお手伝いができますので、産業支援課の農業振興担当までご相談ください。

• 学校農園について

市内の各小中学校では学校農園を運営しています。各学校では、農園活動の指導をしていただける農家さんを募集していたりします。ご協力いただける方は、ぜひご相談ください。

• 寄付金について

「和光市の伝統工芸や農業のために使ってほしい」と遺贈を受けた寄付金の使用用途についての話がされました。ご意見や案などありましたら、産業支援課の農業振興担当までお寄せください。

◎【生産緑地の斡旋】農業委員会事務局：424-9115

下記の生産緑地において、買取りの申し出がなされました。

この土地の取得を希望する方、詳細を知りたい方は、
1月16日（木）までに農業委員会事務局へご相談ください。

生産緑地 番号	所 在	地 番	地 目	地積（㎡）
第 115 号	新倉二丁目	3416 番 1	畑	577
		3417 番 1	畑	180
		3423 番 1	畑	462
		3423 番 2	畑	495
		計（買取対象面積）		1,714
買取希望価格		332,087,500 円		

◎【2025年農林業センサスが実施されます】

農林水産省が実施する農林業センサスは、5年ごとに我が国の農林業を営む方や農山村の実態を明らかにし、農林業に関する最も基本的で、重要な統計を作成することを目的としています。

皆様のお宅や会社等に調査員が伺いましたら、ご協力をお願いします。

詳しくはこちらを御覧ください。

【2025年農林業センサスキャンペーンサイト】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2025cp/cp99.html>

- 調査期日 令和7年2月1日
- 調査対象 市内在住の農業・林業を営む方
- 調査事項 農業・林業の労働力、経営耕地・保有山林、農産物・林産物の販売など
- 調査方法 令和7年1月中旬～2月中旬に調査員が調査対象に該当するか聞き取りの上、調査票を配布します。調査対象となった方はインターネットによる回答か、調査員に提出するかを選択します。

担 当：デジタル推進課デジタル統計担当

矢萩・長島

連絡先：048-424-9092

E-mail：a0300@city.wako.lg.jp



◎【 農地の利用状況調査を実施します 】

農地が適切に利用されているか調査する「農地利用状況調査」の実施を1月中旬頃に予定しています。調査の際は農業委員及び事務局職員が農地に立ち入る事がありますのでご了承ください。

調査の結果、雑草が繁茂していたり、一年以上作付けしていないことが明らかな場合など、利用状況が適正でないと判断された場合には、改善を促す指導文書を送付することがあります。

◎【 農業用廃プラスチック収集は3月上旬頃に実施を予定しています 】

今年度最後の農業用廃プラスチックの収集です。

申込方法・実施日時は、農家だより2月号でお知らせします。

来年度も8月頃と2月頃の2回を予定しています。



◎【 市街化調整区域内の農地の貸し借りについて 】

令和7年4月から市街化調整区域内の農地の貸し借りの方法が変わります。農地中間管理機構を経由しての貸し借りとなるため、これまで1カ月程度だった手続きが4カ月程度かかるようになります。令和7年4月以降に新たに貸し借りするもの、更新するものが対象となりますので、更新等の手続きを今までよりも早めにご案内いたしますのでご承知おきください。

◎【 アライグマやハクビシンによる被害が増えています 】



アライグマ



ハクビシン



タヌキ

埼玉県では都市部でもアライグマやハクビシンの目撃数が年々増加しており、これに比例して農作物等への被害も増えています。アライグマについては、市内各所に罠を設置し捕獲を進めていますが、数が多く駆除が追いついていないのが現状です。

市では、害獣の畑への侵入防止に効果のある電気柵の設置に対し、都市農業支援事業補助金として補助を行っています。（要認定農業者）

収穫時期に限って設置するだけでも大きな抑止効果がありますので是非ご活用ください。また、ハクビシンについては畑だけでなく、家屋や農業用ハウスにも侵入します。ゴミの処分や整理整頓等の日常的な衛生管理による対策も効果的です。